

## 2024年度 事業計画書

## 1 事業実施の方針

障害児者の役割づくり・仕事づくり・居場所づくり事業については、障害理解の促進や共生社会の実現に向けて、障害を抱える人たちが地域の高校生と交流しながら表現活動するアートワークショップや創作した作品の展覧会を実施します。また、個々の特性に応じて進路の可能性を広げていくため、就労を考える会・一般企業や福祉事業所等での職場実習・個々の執着（能力）を独創的な仕事に繋げるためのフェスを実施します。

障害に関する情報の発信・ネットワークづくり事業については、障害を抱える子どもを持つ異なる世代の保護者同士が情報交換する相談室の開催により、保護者間の繋がりを強化していきます。また、障害理解の促進や共生社会の実現に向けてアートワークショップの目的・内容・影響や効果などを記した冊子を制作し、特別支援学校や高等学校などに配布します。

## 2 事業の実施に関する事項

## (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従事者の予定人数	受益対象者の範囲及び予定人数	支出見込額(千円)
①障害児者の役割づくり・仕事づくり・居場所づくり事業	<b>①-1 アートワークショップ【アーツ1】</b> 障害を抱える人たちが表現活動をする場として、中津川浩章氏のファシリテートをいただきながら全5回のアートワークショップを実施。障害を抱える人たちが地域の高校生と交流し、サポートを受けながら作品を制作します。	7/13(土) 8/1(木) 8/20(火) 9/16(月祝) 10/27(日)  13:00 ~16:00	沼津市  サンウェルぬまづ	10人	障害児者(表現者) 延べ 100人  高校生 サポーター 延べ 120人	7,676
	<b>①-2 展覧会【アーツ2】</b> アートワークショップで創作した作品と表現サポートのストーリー（創作活動の様子を撮影した映像・写真など）をカフェなど3箇所で開催。	11月 ~12月	沼津市 cafe/day EART DINER 沼津 コート	10人	一般 延べ 1,000人	

	<p><b>①-3 就労を考える会</b>  <b>【日本財団 1】</b>  行政/学校関係者・企業・ハローワーク関係者などの参画のもとで、障害のある人が個々の特性に応じて進路の可能性を広げるための課題の洗い出しを行う会を5回実施。(職場実習マッチングと連動)</p>	6/27(木) 7/10(水) 9/11(水) 10/16(月) 11/21(木)	沼津市  プラサ ヴェルデ  サンウェ ルぬまづ	10人	障害児者の家族 延べ 20人
	<p><b>①-4 職場実習マッチング</b>  <b>【日本財団 2】</b>  県東部地域の障害を抱える生徒が、学校の夏季休暇中に一般企業や福祉事業所等で職場実習する場をマッチング。就労先の選択肢を広げていくために実施します。</p>	7月 ～8月	静岡県 内外の 企業や 事業所	10人	障害児者と家族 延べ 20人
	<p><b>①-5 フェス【日本財団 3】</b>  「わたくしごと」である好きなことやこだわりを「仕事」につなげるためのフェスを開催。障害を抱える人たちが自分の得意なことやこだわりを披露し、他人より突出した能力を独創的な仕事に繋げるための種まきの場となることを目指します。</p>	11/16(土)	沼津市  プラサ ヴェルデ	10人	障害児者 延べ 50人  一般 延べ 200人
	<p><b>②-1 相談室【アーツ 3】</b>  精神科医として勤務するかたわら執筆や音楽活動も行う星野概念氏によるファシリテートののもとで、障害を抱える子と過ごす保護者たちが日頃悩む内容や支援方法のアイデアなどについて情報交換・共有する相談室を3回実施。</p>	7/19(金) 9/6(金) 12/13(金)	沼津市  cafe/day	5人	障害児者の家族 延べ 30人
<p>②障害に関する情報の発信・ネットワークづくり事業</p>					1,859

	<p><b>②-2 冊子の制作【アーツ3】</b>          アートワークショップの実施が、障害理解の促進や共生社会の実現に有益であることを広く知っていただく内容の冊子を制作。</p>	<p>4月 ~2月</p>	<p>沼津市</p>	<p>10人</p>	<p>静岡県内の特別支援学校の児童生徒 200人  静岡県内の高等学校の生徒 300人</p>	
<p>③その他この法人の目的を達成するために必要な事業</p>						<p>0</p>